

春野菜の生産（生育）・出荷状況について

1. 春キャベツ
2. たまねぎ
3. 春だいこん
4. 春夏にんじん
5. 春はくさい
6. 春レタス

1. 平成22年産春キャベツ(4月～6月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(21年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量(対象市場計)		出荷量(対象市場計)						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比					
全農千葉 県本部	1,060	100%	37,950	101%	40,000	106%	10月中～ 12月上	11月下～ 3月上	3月下～ 6月上	春系は、やや遅れがみられ、3月下旬から開始し、4月中旬から本格化する見込み。	冬系の遅れた分と、春系の面積増加で全体的に平年を上回る見通し。
全農神奈川 県本部	740	102%	38,380	112%	38,380	112%	10月～ 11月下旬	10月下旬～ 1月下旬	3月～5月	春系は3月から出荷開始、例年4月上中旬にピークとなるが、本年は生育が遅れており、4月下旬に出荷ピークとなる見込み。	春系の面積は微増だが、春系、冬系ともに生育は遅れ気味で、期間の出荷は前年を上回る見通し。
JAあいち 経済連	510	106%	22,400	114%	21,770	111%	冬系: 8月末～ 春系: 10月～ 10月末	冬系: 9月末～ 春系: 10月末～ 12月上旬	冬系: 3月～4月 春系: 3月下旬～ 5月上旬	平年よりやや遅れて推移している。 3月下旬からは冬系と春系とでまとまった数量となる見込み。	生育は平年より遅れ気味で、冬系と春系の出荷が重なることにより、期間の出荷は前年を上回る見通し。
その他	1,334		39,137								
対象県 共販計	3,644	104%	137,867	111%							

○ コメント

作付面積:	2月時点の調査で、全農千葉では、増加傾向(数量取りまとめ中)、全農神奈川の前年比は102%、愛知経済連の前年比は115%となっている。 全農神奈川は秋冬だいこんから春キャベツへの移行が進んでいる。愛知経済連は3～4月が微増し、5～6月が大きく増えている。
生育状況:	愛知経済連は前年10月に台風18号による被害があり、冬キャベツの再定植や、春キャベツの再播種などを行った。 年明け後の低温、乾燥もあり、生育は遅れ気味、作柄は平年並みを見込む。

(2) 主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	22年見通し	8,500	17,500	14,000	40,000
	前年比	107%	109%	101%	106%
	3年平均比	119%	108%	115%	113%
全農神奈川県本部	22年見通し	22,225	13,870	2,285	38,380
	前年比	113%	119%	83%	112%
	3年平均比	116%	117%	94%	115%
JAあいち経済連	22年見通し	11560	5,910	4,300	21,770
	前年比	99%	123%	137%	111%
	3年平均比	108%	130%	180%	123%
計 (上記3県)	22年見通し	42,285	37,280	20,585	100,150
	前年比	107%	115%	104%	109%
	3年平均比	114%	114%	121%	116%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年～21年の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年2月時点での出荷見通し。(確定計画は3月にとりまとめ)

○コメント

出荷見通し:	<p>全体的に面積が増加。</p> <p>年始前後の低温・乾燥により、3月出荷予定の冬キャベツの後ずれ出荷も懸念され、総じて少なかった前年を上回る出荷を見込む。</p> <p>前半の4月は、面積が微増しており、前進化して少なかった前年よりもやや多い出荷となることが見込まれる。</p> <p>後半の5月～6月は主に愛知経済連で面積が拡大し、生育遅れによる出荷のずれ込みがあることなどから前年より多い出荷量が見込まれる。</p>
--------	---

2. 平成22年産たまねぎ(4月～10月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(21年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量(対象市場計)		出荷量(対象市場計)					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
ホクレン	4,060	101%	168,500	106%	165,500	104%	早生: 2月上～2月末 中生: 2月上～2月末	早生: 4月中～5月上 中生: 4月中～5月上	早生: 9月上～11月末 中生: 11月上～4月末	現時点では融雪が順調に進んでおり、平年並みの出荷開始を見込む。	21年産については天候不順により、平年を大きく下回る出荷量。 22年産については、2月から播種が始まっているが、作付面積は集計中。
JAさが	1,937	104%	90,466	109%	87,625	105%	早生: 9月下～ 中生: 9月下～ 晩生: 9月下～	早生: 11月中～ 中生: 11月下～12月下 晩生: 11月下～12月下	早生: 4月中～5月上 中生: 5月下旬～ 晩生: 6月上～	最も早い作型は既に2月中旬には出荷開始している。4月中旬頃頃から出荷量が増えだし、5月下旬から出荷本格化する。	1月に入ってから低温・曇天および降雨で作業や生育に一部遅れがあるが、回復しており、平年並みの作柄を見込む。
全農兵庫 県本部	1,379	96%	50,510	110%	50,510	110%	早生: 9月下～ 中生: 9月下～ 晩生: 9月下～	早生: 11月上～ 中生: 11月下～12月下 晩生: 11月下～12月下	早生: 5月上～ 中生: 6月上～ 晩生: 6月中～	5月からスタートし、本格化は6月中旬以降となる。	11月の大雨で定植作業に遅れが出ているが、出荷のスタート・本格化は今後の天候次第。
その他	2,133		77,133								
対象県 共販計	9,509	100%	386,609	107%							

○ コメント

作付面積:	ホクレンは、2月現在、面積を集計中。JAさがは面積が前年比104%と増加し、全農兵庫は前年比96%と減少している。 JAさがでは、大型生産者などが機械化を進め、5月以降の作型を中心に面積が拡大している。
生育状況:	22年産については、JAさが、全農兵庫では、天候不順の影響で一部作業や生育が遅れたが、回復してきており、現時点、作柄は平年並み。

(2) 主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	22年見通し	28,000	2,300	0	0	14,500	53,100	67,600	165,500
	前年比	92%	72%	0%	0%	91%	114%	108%	104%
	3年平均比	100%	80%	0%	0%	102%	106%	109%	104%
JAさが	22年見通し	19,930	25,370	16,910	12,725	11,005	1,585	100	87,625
	前年比	120%	106%	103%	95%	102%	86%	30%	105%
	3年平均比	112%	102%	114%	101%	108%	68%	37%	106%
JA全農兵庫	22年見通し	170	8,075	7,725	15,730	13,010	4,800	1,000	50,510
	前年比	81%	119%	116%	113%	114%	84%	91%	110%
	3年平均比	105%	117%	106%	125%	106%	137%	109%	116%
計 (上記3県)	22年見通し	48,100	35,745	24,635	28,455	38,515	59,485	68,700	303,635
	前年比	102%	105%	105%	104%	101%	110%	108%	105%
	3年平均比	105%	103%	102%	113%	105%	106%	108%	106%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年～21年の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年2月時点での出荷見通し。(確定計画は3月にとりまとめ)

○ コメント

出荷見通し:	ホクレンの貯蔵物に関しては、前年夏の天候不順による不作傾向から、引き続き少ない出回り量となる。 JAさが・全農兵庫については、前年よりやや多い出荷を見込む。
--------	---

3. 平成22年産春だいこん(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(21年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量(対象市場計)		出荷量(対象市場計)					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比					
全農千葉 県本部	700	100%	29,500	108%	27,000	99%	11月上～ 11月下		3月～5月	3月から出荷が始まり、3月末ごろには出荷が本格化する。	年明け以降の天候不順により、生育は遅滞気味。4月以降の出荷に関しては回復基調で、4月は前年並みの出荷を見込む。
全農長崎 県本部	136	100%	10,060	97%	10,415	101%	10月中～ 3月中		3月～5月	3月から出荷が始まり、3月末ごろには出荷が本格化する。	やや遅れ気味であるが、概ね平年並みの出荷量を見込む。
その他	668		29,283								
対象県 共販計	1,504	100%	68,843	107%							

○ コメント

作付面積:	2月時点の調査では、全農千葉は、概ね横ばい見通し(数量取りまとめ中)。全農長崎では前年比104%と微増。 なお、全農神奈川では、秋冬だいこんから、春キャベツへの移行が見られ減少傾向にある。
生育状況:	1月の冷え込みにより生育の遅滞がみられたが、4月以降の出荷に関しては主産県である全農千葉、全農長崎ともに回復してきている。

(2) 主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	22年見通し	15,000	10,000	2,000	27,000
	前年比	99%	98%	104%	99%
	3年平均比	100%	94%	97%	97%
全農長崎県本部	22年見通し	6000	4,415	0	10,415
	前年比	120%	104%	0%	101%
	3年平均比	108%	105%	0%	99%
計 (上記2県)	22年見通し	21,000	14,415	2,000	37,415
	前年比	105%	100%	66%	100%
	3年平均比	102%	97%	70%	98%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年～21年の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年2月時点での出荷見通し。(確定計画は3月にとりまとめ)

○ コメント

出荷見通し:	6月は千葉、長崎以外のウエートが高まるため、平年より少ない見通しとなっているが、期間全体では前年、平年並みを見込む。
--------	--

4. 平成22年産春夏にんじん(4月～7月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(21年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量(対象市場計)		出荷量(対象市場計)					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農徳島 県本部	1,010	103%	35,081	92%	33,778	88%	10月中旬～ 1月中旬		3月上旬～ 6月下旬	3月から出荷が始まり、4月に 出荷本格化となる。	年明け後の冷え込みで生育 は、やや遅れ気味であるが、 徐々に回復してきている。平 年並みの出荷を見込む。
その他	1,255		42,876								
対象県 共販計	2,265	101%	77,957	99%							

○ コメント

作付面積:	2月時点の調査では、全農徳島では作付け面積は前年比の99%。
生育状況:	年明け後の低温で生育はやや遅れたが、2月中旬以降、回復してきている。

(2) 主産県の月別出荷量見通し

	単位:トン	4月	5月	6月	7月	計
全農徳島県本部	22年見通し	18,020	14,566	1,192	0	33,778
	前年比	91%	86%	86%	0%	88%
	3年平均比	90%	101%	99%	0%	95%
計 (上記1県)	22年見通し	18,020	14,566	1,192	0	33,778
	前年比	91%	86%	86%	0%	88%
	3年平均比	90%	101%	99%	0%	95%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年～21年の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年2月時点での出荷見通し。(確定計画は3月にとりまとめ)

○ コメント

出荷見通し:	<p>去年は5月の天候条件が良く、太物品が増えたため、全体の出荷量が増加。(※同じ収穫本数でも太物が増えると出荷箱数、数量は増加する)</p> <p>全体的には、今年は去年ほど多くはないが、平年並みの出荷量を見込む。</p> <p>3月下旬から4月上旬は、掘り取りの遅れている関東産冬にんじんと出荷が重なることも懸念される。</p>
--------	--

5. 平成22年産春はくさい(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(21年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量(対象市場計)		出荷量(対象市場計)					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城	185	100%	13,300	109%	12,800	105%	早生: 11月～1月 中生: 1月～2月	早生: 12月中～2月 上 中生: 2月～3月	早生: 3月～4月 中生: 5月上～6月	春系については、3月中旬ごろから開始し、4月下旬から5月中旬前後がピークとなる。	年明けからの冷え込みで、生育はやや遅れ気味ではあるが、回復基調。期間の出荷量については概ね平年並み。
全農長野	529	99%	18,300	100%	18,800	103%	2月中～4月中	3月下～5月上	5月下～6月下	平年どおりであれば、5月下旬から開始し、6月中旬には本格化する。	今のところ概ね平年並みを見込む。
その他	170		4,482								
対象県共販計	710	99%	36,082	105%							

○ コメント

作付面積:	全農茨城は、生産者の規模の大きい地域については増加傾向であるが、県共販全体としては横ばいで前年比100%。 全農長野に関しては、まだ定植が始まっていないが(とりまとめ中)、現時点では前年並で100%となる見通し。
生育状況:	全農茨城の春系の3月出荷分については、平年通り、3月10日前後から始まる見通し、量的にも平年並みを見込む。

(2) 主産県の月別出荷量見通し

	単位:トン	4月	5月	6月	計
全農茨城県本部	22年見通し	5,200	6,000	1,600	12,800
	前年比	103%	106%	104%	105%
	3年平均比	99%	95%	104%	98%
全農長野県本部	22年見通し	0	1,500	17,300	18,800
	前年比		122%	101%	103%
	3年平均比		102%	111%	110%
計 (上記2県)	22年見通し	5,200	7,500	18,900	31,600
	前年比	103%	109%	101%	103%
	3年平均比	99%	96%	110%	105%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年～21年の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年2月時点での出荷見通し。(確定計画は3月にとりまとめ)

○ コメント

出荷見通し:	全農茨城の4月の出荷見通しは、去年価格が高かったこともあり、春系のなかでも、4月出荷のウエイトが若干高くなっているが、秋冬作の大きなずれ込みは無い見通しで、少なかった前年は上回るが、平年並みの出荷量となる見通し。 期間全体的には概ね平年並みの出荷となる見通し。
--------	---

6. 平成22年産春レタス(4月～5月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(21年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量(対象市場計)		出荷量(対象市場計)						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比					
全農茨城県本部	640	100%	15,300	111%	14,050	102%	早生: 10月下～11月上 中生: 11月中～12月中	早生: 11月下～12月下 中生: 12月下～1月下	早生: 3月上～3月下 中生: 4月上～4月下	3月中旬には、県内各産地が出揃い順調な出荷となる見通し。	概ね平年並みの出荷を見込む。
全農長野県本部	529	100%	12,620	100%	12,950	102%	1月中～3月下	2月下～5月上	4月中～5月下	平年並であれば、結球レタスは5月上旬から出荷本格となる。	概ね平年並みの出荷を見込む。
全農兵庫県本部	497	109%	10,945	121%	10,945	121%	1月中～2月下	11月下～3月下	3月下～5月下	春レタスは、平年どおりか、やや遅れての出荷開始と本格化となる見込み。	平年並みか、ややそれを上回る出荷となる見通し。
その他	612		12,042								
対象県共販計	2,278	104%	50,907	114%							

○ コメント

作付面積:	全農茨城では産地ごと増減があるものの全体では概ね横ばいで、前年比100.4%。兵庫は増加傾向で前年比110%。 全農長野は、2月時点の調査では、まだ定植が本格化しておらず集計中であるが、前年並みで前年比100%の見通し。
生育状況:	兵庫では11月中旬のまとまった降水により圃場冠水し定植作業が遅れた。 冬レタスは全体的に年明けから低温・干ばつ傾向となっているため、生育が遅れており、春レタスと出荷が重なることも懸念される。 茨城では、2月以降は降雨により、干ばつは解消され、3月にむけ生育状況は回復しつつあるが、今後の天候次第でまた見通しも大きく変わる。

(2) 主産県の月別出荷量見通し

	単位:トン	4月	5月	計
全農茨城県本部	22年見通し	9,850	4,200	14,050
	前年比	102%	101%	102%
	3年平均比	106%	94%	102%
全農長野県本部	22年見通し	450	12,500	12,950
	前年比	92%	103%	102%
	3年平均比	110%	100%	100%
全農兵庫県本部	22年見通し	6472	4,473	10,945
	前年比	118%	125%	121%
	3年平均比	113%	125%	118%
計 (上記3県)	22年見通し	16,772	21,173	37,945
	前年比	107%	107%	107%
	3年平均比	109%	103%	106%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年～21年の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年2月時点での出荷見通し。(確定計画は3月にとりまとめ)

○ コメント

出荷見通し:	平年並みの天候の推移となれば、全体的には、前年、平年をやや上回る出荷量となる見込み。
--------	--